

平成26年度 基本方針報告

- | | | |
|-----------|--|-----|
| I 財政 | | 評価A |
| 1 | 中部総合男女選手権大会の財政を確保し、成功させることができた。 | 評価C |
| 2 | 「2014/15 V・プレミアリーグ チャレンジリーグ」を成功させ、財政を確保することができた。 | |
| II 普及 | | 評価C |
| 1 | バレーボール競技人口を増加し、ファンの拡大に努めました。 | 評価A |
| 2 | 各種資格取得に向け、講習会・研修会を開催しました。 | |
| III 育成・強化 | | 評価B |
| 1 | 各カテゴリーの連携をはかり、指導力の向上、選手の育成と強化に努めました。 | 評価B |
| 2 | 国民体育大会東海予選を突破し、本国体(長崎県)に2種別出場することができた。 | 評価B |
| 3 | 各種全国大会での、上位入賞ができた。 | |

平成26年度 事業報告

1 競技委員会

《重点施策》

- | | | |
|---|--|------|
| ① | 競技委員会の強化
委員会を年に1回実施する。 | 評価 B |
| ② | 県協会が主管する特別大会の円滑なる競技運営を図る。
・2014/15 V・リーグ 岐阜大会 | 評価 B |
| ③ | 県内競技会の日程調整及び会場を確保し、円滑な運営を行う。 | 評価 A |
| ④ | 県内会場の施設・設備及び料金を調査し、会場確保に活用する。 | 評価 B |
| ⑤ | JVA-MRSによる競技会参加申込みを推進する。
(各連盟の方針により書類申請も可とする) | 評価 A |

《会議・研修等》

- | | | |
|---|-------------------------|------|
| ① | 東海連盟競技委員長会議への参加(5月・12月) | 評価 A |
| ② | 全国競技委員長研修会への参加(3月) | 評価 A |
| ③ | 県内競技委員会の開催(3月末) | 評価 A |

《その他》

- | | | |
|---|--|------|
| ① | 備品・消耗品の管理強化 | 評価 B |
| ② | 備品・消耗品の購入
・クリアーBOX 数箱 (備品・消耗品の収納箱)
・各種テープ類 (在庫使用後) | 評価 B |

2 審判委員会

《重点施策》

- | | | |
|----|---|-----|
| ア、 | 審判判定基準の確立とゲーム運営の円滑化を図りました。 | 評価A |
| a) | 全国6人制審判講習会及び全国9人制審判講習会へ参加して、改正されたルール及びその取り扱い、そして判定基準などを正確に理解するように努めました。 | |
| b) | 東海ブロックA級審判員研修会へ参加して、指導的立場のA級審判員の判定基準及び取り扱いの統一化を図りました。 | |
| c) | 県内・各地区・各種別審判伝達講習会を開催し、審判員に対し、競技規則及びその取り扱いに関する一層の理解と正確なルールの適用を求め、ゲームを円滑に運営できるように指導しました。□ | |
| イ、 | 実働審判員の数を増やすとともに底辺の拡大を図りました。 | 評価A |

- a) JVA-A級候補審判員研修会, B級審判員講習会に参加しました。
- b) JVA-B・C級審判員資格取得審査講習会を実施しました。
- c) GVA-A・B級審判員資格取得講習会を実施しました。
- d) 若手審判員や女性審判員の人材を発掘し、育成に努めました。
- e) 各種別において、帯同審判員制度を確立して、新しい審判員の発掘・育成に努めました。
- f) 生涯スポーツ社会で活躍できる熟年層スタッフの活動機会を広げました。
- ウ、審判技術向上のための研修に努めました。 評価B
- a) JVA6人制A級審判員強化事業及びJVAレフェリースクール(Vスクール)に参加して、トップレベルでの審判実践が行なえるような審判技術を習得しようとした。
- b) 全国大会・東海大会へ積極的に審判員を派遣しました。
- c) 全国上級判定員認定講習会に参加して、判定員のスキルアップに努めました。
- d) 【第64回中部日本6人制総合男女選手権大会】、【国民体育大会第35回東海ブロック大会】に向けて、事前研修会を実施し、審判員のスキルアップに努めました。
- エ、中堅審判員の指導力向上に努め、その育成を図ろうとした。 評価B
- a) 各種競技会において、コントローラーなど指導的役割を務められる人材の育成に努めようとした。
- b) レフェリーセミナーは実施できませんでしたが、指導的立場の審判員の育成及び指導方法の統一化を図ろうとした。
- オ、審判委員会の組織の充実を図り、審判員の把握に努めました。 評価A
- a) 各種別委員会及び各地区委員会の充実を図りました。
- b) 各部会の充実を図り、審判委員会の運営の円滑化に努めました。
- カ、審判委員会の事業及び活動を広く伝え、審判活動の普及・発展に努めることができませんでした。 評価D
- a) ホームページを再開できず、ホームページ上で審判委員会の事業や活動できませんでした。
- b) ホームページを再開できず、ホームページ上で競技規則及び取り扱いをできませんでした。
- キ、審判員の地位向上と審判活動の環境向上に努めました。 評価B

4 競技力向上対策委員会

《重点施策》

- ア、小学生からの長期展望に立って、ブロック国体を突破できる競技力をつける
…長期展望という点ではまだ評価不能だが、2種別突破できた。 評価 B
- イ、アの達成に向け、特に優秀な小中学生の発掘・強化で、少年・成年種別との積極的連携のもとに強化を図る
…ジュニア層強化に対して、成年種別にさまざまな協力を得ることができた 評価 B
- ウ、指導普及委員会との連携で、優秀指導者の育成を図る
…上級コーチの取得は図れたが、ジュニア層指導者の育成が課題である。 評価 B
- エ、ビーチバレー2019年の国体正式競技化を見据えて、競技人口の拡大を図る
…高体連、学連との調整を行うにとどまった。 評価 C

《事業計画》

- ア、ジュニアグローによる強化と、8月までの短期に集中した種別の強化練習
…各事業を計画的に実施することができた。 評価 A
- イ、ジュニアグローアップ作戦事業に、優秀な指導者、講師の招聘と、年間を通した系統的な事業実施をする
…6回の事業に計画的に講師等を派遣し実施することができた。 評価 A
- ウ、特に小学生指導者育成について、講習会等を実施する
…県小連事業に対して、委員会から講師等を派遣し実施することができた 評価 A
- エ、競技人口拡大のために、さまざまな事業を実施する
…選抜された選手以外を対象としたジュニアグローアップを数回実施した。 評価 B

3 指導普及委員会

《重点施策》

- ア、若年層バレーボール人口の拡大および競技者の普及の推進
(小中学生を中心とした低年齢層の増員) 評価 D
- イ、バレーボール指導者の養成・資質向上および組織作り 評価 B
- ウ、各支部および加盟団体との連携を図り、バレーボールの指導・普及に努める 評価 B
- エ、講習会・研修会の開催 評価 A
- オ、委員会組織の充実を図る 評価 C

《事業報告》

- ア、スポーツ指導員養成講習会を開催する 評価 A
- イ、都道府県別指導者義務研修会を開催する 評価 A
- ウ、ソフトバレーボールの小学生への教材化研修会を開催する。 評価 B
- エ、各支部、種別の指導普及委員と連携し、各種事業への支援を行う 評価 C

- 1 日本スポーツマスターズ2013 岐阜県男女予選会の開催 評価 B
- 2 平成26年度JVA都道府県別バレーボール指導者研修会の開催 評価 A
- 3 JVAゴールドプラン ソフトバレーボール授業支援の実施 評価 B
- 4 (公財)日体協 公認スポーツ指導員 養成講習会『専門科目』の開催 評価 A
- 5 U-14クラブチャンピオンシップ男子バレーボール大会の開催 評価 B

6 障がい者委員会

《重点施策》

- ア、聴覚・知的・精神の各障がい者チーム及び岐阜県障害者スポーツ協会等の関係団体との連携を図り、組織作りを推進し体制を強化する 評価 C
- イ、聴覚・知的・精神の各障がい者バレーボール競技者の普及と全国障害者スポーツ大会出場及び上位入賞に向けた競技力の向上を推進する 評価 B

《事業計画》

- ア、聴覚・知的・精神の各担当者及び岐阜県障害者スポーツ協会等の関係団体との打ち合わせ会議の開催 評価 C
- イ、バレーボール競技者普及のための講習会やVリーグ観戦事業、競技力向上のための練習会の開催 評価 C

5 事業委員会

《重点施策》

- ア、Vリーグを企画し、適正に運営する 評価 D
- イ、中部総合を、適正に運営する 評価 D
- ウ、事業委員会の組織化を図る 評価 D
- エ、各部署(競技、審判、総務)の横の連携を図る 評価 D

《事業計画》

- ア、Vリーグ開催地会議へ参加する 評価 A
- イ、Vリーグ実行委員会を開催する 評価 C
- ウ、中部総合実行委員会を開催する 評価 D
- エ、事業委員会を開催する 評価 D

7 事務局

《事業》

- ア、『平成26年度 バレーボール要覧』のHPへの掲載しました。 評価 A
- イ、連絡を受けた大会結果のHPへの掲載できた。 評価 B
- ①大会結果の早期把握に努め、正確かつ迅速に結果を掲載しました。
- ②大会組合せについても、出来るだけ掲載出来るように努めました。
- ウ、各種特別事業の企画・運営に努めました。 評価 C
- ①特別事業の実施は、早期に企画し実行委員会により運営があまりできません

- でした。
- ②各支部での開催時には、全面的な協力体制を図るように努めました但十分できませんでした。

《会計》

- ア、予算に基づき、円滑並びに適正に執行するように努めました。 評価 C
- ①会計の明朗化、適正化に努めることができました。
迅速化については、十分できませんでした。
- ②証拠書類の完備、振込等による支出、複数による調書の確認を行うことが十分できませんでした。
- イ、積極的な広報活動及び広告等収入のアップを図る 評価 C
- ①賛助会員の発掘に努めることができませんでした。

《連絡調整》

- ア、理事・常任理事会の召集をすることができました。 評価 A
- イ、各関係機関との連絡調整を図ることが十分にできませんでした。 評価 C
- ①関係機関の対応者の分担制を敷き、迅速な対応が十分にきませんでした。
- ②各委員会との連絡を密にし、迅速な対応が十分にきませんでした。
- ウ、その他慶弔等に関する諸連絡 評価 B
- ①慶弔に関する情報の早期入手、早期連絡を図るよう努めました。
- ②正確性、迅速化を図るため、メールを活用した連絡網並びに連絡方法の改善を図れるように努めました。

《重点施策》

- ア、事務局体制の整備を図ることが十分にできませんでした。 評価 C
- ①各支部・種別の事務局長(総務委員長等)と事務局との連携を緊密にすることが十分にできませんでした。
- ②各種県内大会・東海大会・全国大会の円滑な事務処理並びに会計処理に努めるようにしました。
- イ、協会ホームページの充実できるように努めました。 評価 B
- ①ホームページの内容を充実するよう努めました。

【評価基準】

A:十分に達成できた、B:達成できた、C:あまり達成できなかった、D:達成できなかった